

問1 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 1. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。 | 2. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。 | 3. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。 | 4. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|---|

問2 九州地方の宮崎県から鹿児島県にかけての南部一帯に広がる、過去の巨大な噴火によって噴出した火山灰などが積み重なって形成された台地を何と呼びますか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|--------|----------|---------|
| 1. シラス台地 | 2. 牧ノ原 | 3. 武蔵野台地 | 4. 根釧台地 |
|----------|--------|----------|---------|

問3 九州地方北部の福岡県から佐賀県にかけて広がり、有明海に面している広大な平野があります。この平野は九州最大の稲作地帯として知られていますが、その名称として正しいものを選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 筑紫平野 | 2. 熊本平野 | 3. 宮崎平野 | 4. 仙台平野 |
|---------|---------|---------|---------|

問4 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。 | 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。 | 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。 | 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。 |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|

問5 鹿児島県の桜島周辺では、噴火によって噴出された火山灰や火砕流が積み重なって形成された、水はけの良い台地が広がっています。この地形の名称と、その土地利用の特徴について説明したものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|
| 1. シラス台地と呼ばれ、稲作には不向きだがサツマイモなどの畑作が行われている | 2. シラス台地と呼ばれ、保水力が非常に高いため大規模な稲作が行われている | 3. 扇状地と呼ばれ、果樹園として利用されるほか、住宅地としても開発されている | 4. 干拓地と呼ばれ、堤防で囲うことで海を陸地化し、広大な農地として利用されている |
|---|---------------------------------------|---|---|

問6 沖縄県の観光産業における現状と課題について、外国人観光客の満足度や不満度の統計的な傾向をふまえて説明した文として、適切なものはどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。 | 2. 現地の食事や土産品に対する満足度が著しく低く、観光資源の質の向上が求められている。 | 3. 公共交通機関の利便性については高く評価されているが、外国語での案内表示が全くないことが不満に繋がっている。 | 4. 宿泊施設での対応には満足している一方で、観光地でのWiFi環境が完全に整備されているため不満は存在しない。 |
|---|--|--|--|

問7 農産物の生産統計において、サトウキビの生産量や、マンゴー、菊（電照菊）の出荷量が全国トップクラスである都道府県はどこか、名称を答えなさい。（2014年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 宮崎県 | 3. 鹿児島県 | 4. 高知県 |
|--------|--------|---------|--------|

問8 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 園芸農業 | 2. 近郊農業 | 3. 酪農 | 4. 稲作 |
|---------|---------|-------|-------|

問9 鹿児島県において、近年、福岡市や大阪市などの都市部からの観光客やビジネス利用が増加した交通インフラの変化として、最も関係が深いものはどれですか。（2016年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 九州新幹線が全線開通し、博多駅や新大阪駅との接続が強化されたこと | 2. シラス台地を横断する日本初の自動運転専用的高速道路が整備されたこと | 3. 桜島と市街地を結ぶ巨大な海底トンネルが開通し、物流が効率化されたこと | 4. 県内のすべての主要駅を結ぶ路面電車網が、新幹線と同等の速度に改良されたこと |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。	自動車の組立工場や部品工場が多く立地する都市では、製造業に携わる労働者が多くなるため、第2次産業の就業者割合が他の都市に比べて高くなる傾向があります。九州では、輸送用機械などの製造業が盛んな都市がこの特徴に合致しており、商業が中心の都市に比べて第2次産業の割合が突出して高いのが特徴です。
問2	答え 1 シラス台地	九州南部に分布するこの台地は、火山の噴出物が厚く堆積してできました。粒子の細かい火山灰層は水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には向かない土地とされてきました。そのため、サツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が盛んに行われています。
問3	答え 1 筑紫平野	福岡県と佐賀県にまたがるこの平野は、有明海の干拓や堆積作用によって形成されました。九州地方における主要な食糧生産基地となっており、特に米の生産が非常にさかんな地域です。
問4	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問5	答え 1 シラス台地と呼ばれ、稲作には不向きだがサツマイモなどの畑作が行われている	南九州に広がる火山噴出物からなる台地を「シラス台地」といいます。この地形は非常に水はけが良く、水がたまりにくいいため、かつては米作り（稲作）には適していませんでした。そのため、乾燥に強いサツマイモや、近年では畜産業、広大な土地を活かした野菜の生産などが盛んに行われています。
問6	答え 1 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。	外国人観光客が沖縄観光において直面している課題は、主にソフト面（外国語対応）と通信インフラ面（WiFi）に集中しています。統計データにおいて「外国語対応能力」の満足度が最低水準であり、かつ「WiFi」への不満が最高水準であるという事実は、観光客が滞在中に情報の取得や発信にストレスを感じている状況を反映しています。食事や土産品といった要素よりも、これらの受け入れ態勢の整備が急務となっています。
問7	答え 1 沖縄県	亜熱帯特有の温暖な気候を活かした農業が盛んであり、サトウキビのほか、冬の夜間に電灯を照らして開花時期を調整する「電照菊」や、熱帯の果実であるマンゴーなどの栽培が特徴的です。宮崎県もマンゴーの生産で知られますが、サトウキビの生産量と比較すると、南西諸島に位置するこの都道府県が際立って高い数値を示します。
問8	答え 1 園芸農業	宮崎県は太平洋を流れる暖流である黒潮の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜を栽培する園芸農業が発達しました。特に、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売する「促成栽培」が、平野部を中心に広く行われています。
問9	答え 1 九州新幹線が全線開通し、博多駅や新大阪駅との接続が強化されたこと	鹿児島県は九州の南端に位置するため、かつては九州北部や本州との移動に多大な時間を要していました。しかし、九州新幹線が鹿児島中央駅まで全線開通したことにより、博多駅まで最短で1時間20分弱、さらに山陽新幹線との直通運転によって新大阪駅とも約4時間で結ばれるようになりました。この「時間距離」の短縮が、ヒトやモノの動きを活発にし、地域経済に大きな影響を与えています。